

MRA/Expressway によって UDS 連絡先フォト解決を設定し、解決して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ジャバーconfig.xml ファイル](#)

[LDAP の UID パラメーター マッピング](#)

[Expressway コア/ビデオ コミュニケーション マネージャ \(VCS \) 制御を設定して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料はジャバーが Mobile Remote Access (MRA) に登録されているときユーザ探索サービス (UDS) によって連絡先フォト解決を設定し、解決するために手順を記述したものです

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

UDS 上の連絡先フォト解決はいくつかの事を必要とします。

- イメージはどこかにホストする必要があります。 イメージをホストしている別途の Webサーバがある必要があります。
- イメージは「JPG」形式にであるおよび大きさを分類された 128x128 pixels である必要があります。
- ジャバーはその位置にアクセスできなければなりません。 Webサーバがネットワークの外にあって Webサーバ FQDN が IP は内部から完全に解決可能、到達可能である必要があります。
- 各イメージ ファイルは「uid.jpg」として「uid」が各ジャバー ユーザのユーザー ID であるところで命名スキームがなければなりません。 これは config ファイルの設定コードの tandom ではたらきます。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

ジャバー admin は Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) によって Cisco Expressway で Mobile Remote Access (MRA) を展開する前にフォト連絡先解決を内部で設定します。MRA によって外部にログインする場合 LDAP が連絡先フォト解決のために使用される場合、連絡先フォトは MRA がユーザ探索サービス (UDS) をデフォルトで利用するので、解決しません。Admin は MRA にはたらくこのための UDS によって連絡先フォト解決を設定する必要があります。それがディレクトリソースで、各ユーザ向けの連絡先フォトを引っ張れるのでジャバーは外部に接続するときこうすれば、UDS に自動的に切り替えます。

admin は LDAP よりもむしろ既に UDS を顕著に使用して、既に設定される連絡先フォト解決がある場合 admin Expressway を設定する必要だけおよび他のステップをスキップできます

設定

ジャバー-config.xml ファイル

カスタム ジャバー構成ファイルを使用している場合、これらのファイルが上のグローバル設定ファイルを書かないことを確かめる必要があります。つまりこの作業を作るためにグローバル設定ファイルに付け加える構成は優先する必要があります。

構成は <Directory></Directory> タグの下で追加される必要があります。それはに加えて提供あらゆるディレクトリ構成既に追加することができます。

```
<Directory>
<DirectoryServerType>UDS</DirectoryServerType>
<PhotoUriWithToken>http://webserverFQDNorIP/images/%%uid%.jpg</PhotoUriWithToken>
<UdsPhotoUriWithToken>http://webserverFQDNorIP/images/%%uid%.jpg</UdsPhotoUriWithToken>
<UdsServer>CallManager IP or FQDN</UdsServer>
<MinimumCharacterQuery>3</MinimumCharacterQuery>
</Directory>
```

注: URL の「%%uid%.jpg」部分はジャバーを各ユーザのユーザー ID のワード「uid」を代わりにするように告げます。それをにマップする誰ジャバーが確認することは非常に重要どこでイメージを見つけるかであり。

LDAP の UID パラメーター マッピング

ユーザにイメージをマップことできる必要を早口に喋って下さい。LDAPサーバがある場合、各ユーザ向けの UID パラメータを設定する必要があります。UID パラメータはそのユーザ向けのユーザー ID です。

ステップ 1. ユーザを見つけて下さい。

ステップ 2. View > Advanced Features の順にクリックして下さい。

ステップ 3. 属性エディタを取付けて下さい。

ステップ 4. ユーザー ID で各ユーザー向けの UID パラメータを設定して下さい。

注: これは各ユーザー向けにされる必要があります。これを完了すれば Call Manager の LDAP ディレクトリ設定で同期します完全の行う必要があります。

Expressway コア/ビデオ コミュニケーション マネージャ (VCS) 制御を設定して下さい

ジャバー外部におよびとすべてのサーバで通信するため内部によって接続するため Expressway コア (Expressway C) /VCS 制御ので、ジャバーがイメージをホストする webserver にアクセスするように Expressway C を設定する必要があります。

ステップ 1. VCS 制御へのログイン。

ステップ 2. > Unified Communication > 設定 『Configuration』 をクリックして下さい

ステップ 3. HTTPサーバを許可しますリストを 『Configure』 をクリックして下さい。

ステップ 4. 『New』 をクリックして下さい。

ステップ 5. Webサーバの IP か完全修飾ドメイン名 (FQDN) を設定し、エントリを 『Create』 をクリックして下さい。

確認

ジャバーを終了削除しますキャッシュを今でき、外部のログ背部および連絡先フォト解決ははたらく必要があります。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

連絡先フォトがはたらかない場合、解決するために下記のステップに従って下さい

ステップ 1: ジャバー config ファイルをチェックして下さい。フォト URL 正しいがあるはずでず抜けていたタグ角カッコがあるはずです。

呼び出します。ジャバー クライアントは新しい config ファイルをダウンロードする必要があります。優先するカスタム config ファイルがなければなりません。

ステップ 3 LDAPサーバを、UID パラメータ ユーザ向けに正しい必要がありますチェックして下さい。

ステップ 4 FQNDs を使用している場合、彼らはジャバーと使用していることを Personal Computer (PC) から解決する必要があります。 **nslookup** はこれが問題であるかどうか確認を助けます。 ユーザのイメージのための URL をブラウザで入力し、ロードするかどうか参照して下さい。 これすべてがはたらく場合、次のステップはジャバー問題レポートを引っ張ることです。

ステップ 5 Expressway C はサーバを許可するために正しく設定する必要があります。

上すべてがチェックされる場合、ジャバー問題レポートを引っ張り、PC からパケットキャプチャを得て下さい。 問題レポートはイメージを解決することを試みるように各ユーザ向けの修正されたフォト URL を示します。 それはイメージを見つけることができないと言えばそれは Webサーバまたはネットワーク上の問題であるかもしれません。

連絡先問題のための問題レポート キーワード:

Photos, Contacts, and Directory Search

[csf.person.adsources] - Component level resource for directory and contact information. Shows results of searches performed in Jabber.

[csf.person] - Component level information specifically about contacts in Jabber (and those searched) along with photo information

"BuddyListEventListener" - Keyword that shows up when Adding and Removing contacts

"onPhotoDownloadComplete" - When Jabber attempts to download contact photos, it will be noted by this keyword along with success or failure information.

"sendGetRequest" - URI Substitution for Photos will include this keyword in the URL request to the Web Server

"HttpClientImpl" - Keyword shows HTTP data and requests for photos, CURL, and WebEx Meetings

PersonResolutionHandler - This keyword is good for discovering where Jabber attempts to resolve contacts through AD and Outlook. May not be available in sub 9.6 versions.

"searchString" - This displays the letters a user types in the Jabber search or call field.

"string2search" - This keyword is the result of the searchString user entered information. It's what Jabber will actually use to search in local cache, Outlook Address Book, and Active Directory

"getRecordWithPhoto" - When using AD as the source for photo downloads, this keyword provides the point at which Jabber downloads the photo from AD.

"ContactCard" - (11.x) The Contact Card feature used when hovering over a contact uses this keyword